



寒い時期を迎え、暖房器具など火を使用する機会が多くなり、毎年ちょっとした不注意による住宅火災が多く発生しています。

火災を起こさないためには、日頃から「火の用心」を心掛けるとともに、次の10のポイントをおさえておきましょう。

### 4つの習慣を身につけましょう

① **寝たばこ**は絶対にしない、させない。



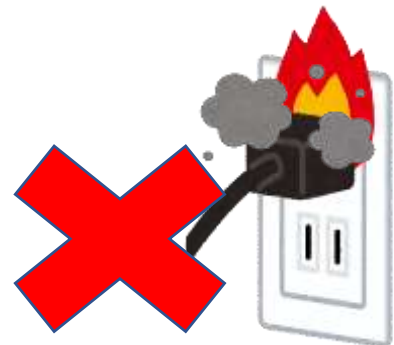
② **ストーブ**の周りに燃えやすいものを置かない。



③ **コンロ**を使うときは火のそばを離れない。



④ **コンセント**はほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く。



## 6つの対策をしましょう

- ① 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は**安全装置**の付いた機器を使用する。



- ② 火災の早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10年を目安に交換する。



- ③ 火災の拡大を防ぐために、部屋を**整理整頓**し、寝具、衣類、及びカーテンは、**防災品**を使用する。



- ④ 火災を小さいうちに消すために、**消火器等**を設置し、使い方を確認しておく。



- ⑤ お年寄りや身体の不自由な人は、**避難経路**と**避難方法**を常に確保し、備えておく。



- ⑥ **防火防災訓練**への参加、戸別訪問などにより、**地域ぐるみの防火対策**を行う。



## 119番の正しい掛け方

みなさんからの正しい119番通報は、速くて確実な消防・救急活動につながります。いざというとき、あわてずに正確な情報を伝えられるように、日頃から正しい119番通報のポイントを確認しておきましょう。

### 通信指令員の質問に落ち着いて答えましょう！

- ① 「**火事です**」または「**救急です**」とはっきり伝える。
- ② 住所は**番地まで正しく伝える**。  
※住所がわからないときは、目印となる建物や看板などを伝える。
- ③ **何が（だれが）どうしたか**をわかりやすく伝える。
- ④ **自分の名前と電話番号**を伝える。
- ⑤ 携帯電話からの通報は、**通報後も連絡が取れるように**しておく。

あわてないために、電話の近くに住所を書いたメモを貼っておきましょう。

